LE MASQUE,

作.構成, 永島慎二. S.G.C.OP.

ガタタン
ガタタン
ガタン

ゴ゜゜ゴ゜゜ゴ゜゜ゴ゜゜
ガ゜゜
南戸加組
ガ゜ガ゜ガ゜
ガ゜ガ゜ガ゜ガ゜ガ゜ガ゜

あ、
た、
たた

どうです
一パイ
……
つまり
だ!
てやんでえ
ギャッホー

ヒ
ワ！

ゴクッゴクッ

ワーッ

もしもし……

はあ……
ちょっと熱がありますので…休ませていただきます

おやおでかけですか

ピィ

ピァーー

ザザザ

やっぱり……だめだよ！

1967.2.17完SHINJI.N

ローターリー

東真一郎

○

つげ義春氏は、かねて待望していたカー、即ち自動車を手に入れた。(価格は特に秘す)。うれしくて毎日愛車を撫でまわしている。いろいろなところからマンガの注文はあるが、心はカーにうばわれて、筆の方は一向に進まない。そんなある日、つげ氏の愛車のガソリンタンクに小便を入れた奴がいる。ガソリンタンクに小便を入れるほどのものであるから、相当長いホースの持ち主であろうが、いずれにしても、つげ氏は愛車のエンジンがかからず、その原因を追求するのに三日もかかり、ついに「ガロ」の原稿もおくれたとか……。結局、穴であればなんでもいいから入れてみようという近頃の風潮?が大切なつげ氏の原稿をおくらせることになったのである、ホースが長いからといって、どこにでも使用して果たして許されるであろうか。

○

一方、水木しげる氏は、おしよせるマスコミのために体の調子を悪くして、最近禁煙した。二三日たって再び吸おうと煙草に手を出しかけたところ、偶然?にも大阪からきたアシスタント氏が、「先生ホンマにえらいわ、俺もう煙草やめられへん思うとったが、ホンマに先生ようやめはりましたなァ」とほめちぎるので、致し方なく手をひっこめるとかいう話。それが、水木氏が吸おうかなと思うと、アシスタント氏が横から「先生ホンマにえらいわ」とわめき出す。氏はやむを得ず、現在に至るも禁煙中。いわゆる「偶然の神秘」というやつであろうか……。

○

一日中無為に、何もしないでぼんやりと過ごすと、実にたのしい気分になるから妙なものである。大体、人間そのものが無為に生まれたんだから、無為に過ごすのが天地自然の法則にかなっているのであろう。その反面、反自然的状態、たとえば、あくせく仕事に追われて働くなど全人類のために奉仕するが如き生活をすると、決まって肩がこったり、歯が痛くなったり体の調子が悪くなってしまう。これはきっと、人間の体そのものが、崇高なものに向かないようにできているからであろうか………。